

令和6年度

信州ESD/SDGs 成果発表 & 交流会

～ユネスコエコパークと共に学ぼう～

ESD (Education for Sustainable Development) は、これから目指すべき持続可能な社会の創り手を育む教育です。現在の学習指導要領全体の基盤となる理念として、またSDGs (持続可能な開発目標) 達成の鍵として、注目が集まるESD。この成果発表&交流会では、各校でESDの学びを実践している子どもたちが、学びの成果を発表し、また交流を通じてその学びを深めます。長野県内だけでなく各地のユネスコエコパークでESDを実践している学校もオンラインでつながることで、様々な分野での発表から学びの広がりが期待されます。

令和7年
(2025年)

2月2日(日)・2月3日(月)

〈午前の部〉10:00～12:15

〈午後の部〉13:30～15:40

オンライン開催

同時YouTube
ライブ配信

午前の部

10:00～10:10	開会行事
10:15～11:40	発表・交流会
11:40～11:50	講評
11:55～12:15	全体共有の時間

午後の部

13:30～15:00	発表・交流会
15:00～15:10	講評
15:15～15:30	全体共有の時間
15:30～15:40	閉会行事

○国際交流会場は2月3日(月)の午後の部となります ○各会場の発表数は4～5グループを予定しています
○グループの発表時間は10分です ○プログラムは参加校や進行の状況により変更することがあります

※詳しくは、実施要項をご覧ください

発表校募集

■参加対象校

- 長野県内でESD/SDGs学習を実践する学校等
- 全国のユネスコエコパークでESD/SDGs学習を実践する学校等
- 海外でESD/SDGs学習を実践する学校等



エントリーシート提出締切日 **12月6日(金)** 参加費 無料

エントリーシートおよび実施要項は信州ESDコンソーシアムホームページ「成果発表&交流会2024特設サイト」からダウンロードください

<https://esd-nagano.org/conference/introduction/2024/>

主催: 信州ESDコンソーシアム

共催: 公益財団法人イオン環境財団



信州大学



後援: 長野県教育委員会、一般社団法人長野県環境保全協会、長野県ユネスコ連絡協議会、ESD活動支援センター、中部地方ESD活動支援センター、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク (ASPUnivNet)

お問い合わせ

信州大学教育学部 信州ESDコンソーシアム事務局(担当:小林・青木・大山)

〒380-8544 長野市西長野6-口 TEL:026-238-4034 E-mail:kyoesd@shinshu-u.ac.jp HP:<https://esd-nagano.org/>



オンラインでつながる

成果発表 & 交流会

発表

★ESD/SDGs学習で学んだことを他校の参加者に伝えます

クラス全員で発表したり、グループの代表が発表したり、発表内容を1つの動画にして発表したり発表スタイルは自由！



交流

★オンラインで参加校がつながり、互いの発表を聞き、質問したり、質問に答えたり、感想を伝え合います

昨年度(R5年度)の国際交流会場では、カンボジアの小学生が参加しました！
逐次通訳が入るので安心して感想や質問のやり取りができます

講評

★有識者からの講評を受けてさらに学びを深めます



みなさんのエントリーを お待ちしております！



昨年の発表内容はホームページでご覧いただけます
<https://esd-nagano.org/conference/introduction/2023/>

■ 信州ESDコンソーシアム

信州ESDコンソーシアムは、長野県でのESDの普及・推進を目指して、2017年2月に信州大学教育学部が中心となって設立した団体で、ユネスコスクール、教育委員会、民間ユネスコ協会、NGO、企業、団体など、子どもたちの学びにかかわる多様な主体が参画しています。コンソーシアムはESDに関連する情報発信や実践のコーディネート、各種研修会や交流会の開催などの活動を行っています。自然豊かな長野県には、国内でもっとも多い3つのユネスコエコパークがあることから、これらを活かしたESDの普及・推進にも取り組んでいます。

■ ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパークは、豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動を進めるモデル地域です。(登録地域数：136カ国759地域。うち国内は10地域。)※2024年7月現在

■ ESDについて

ESDはEducation for Sustainable Developmentの略で、『持続可能な開発のための教育』と訳されます。気候変動や貧困、人権、平和といった、私たちの社会の存続に関わるさまざまな課題を自分事としてとらえ、その解決に向けて自ら行動する人を育てることを目指す、「持続可能な社会の創り手」を育む教育です。SDGs(持続可能な開発目標)においてESDは、目標4「質の高い教育をみんなに」のターゲットの一つであると同時に、すべての目標達成に人づくりを通じて貢献する鍵ともなっています。

2020年度から順次実施されている現行の学習指導要領において、「持続可能な社会の創り手」の育成という表現でESDの理念が組み込まれたことから、ESDは現在、すべての学校現場で実践される学習活動となっています。